

# 第38回岩手育種談話会

第38回岩手育種談話会を下記の要領で開催致します。今回の談話会は元麒麟ビール基盤研、現在岩手大学農学部特任教授の門馬孝之氏、東北農業研究センター畑作園芸領域長の松元哲氏のお二人に下記のテーマで話題提供していただくことにしました。皆様の御参加をお願い申し上げます。また学生の参加を歓迎します。

本談話会は岩手農林研究協議会(AFR)との共催で開催されます。

---

話題: 松元 哲 氏 (東北農業研究センター)

「根こぶ病抵抗性ハクサイ品種の育成」

門馬孝之 氏 (岩手大学農学部, 元麒麟ビール)

「ホップ育種の革命; 雌花から誘導した雄花による交配」

日時: 平成27年5月29日(金) 15:30~17:30

場所: 岩手大学農学部4番講義室(農学部2号館1階)

---

内容:

(1)根こぶ病は、アブラナ科野菜にとって難防除土壌病害の一つである。特にハクサイでは病原型(レース)が複数知られており、抵抗性育種を困難にしている。近年、根こぶ病抵抗性遺伝子座に連鎖するDNAマーカーの開発により、それぞれの病原型に対応する抵抗性遺伝子についての情報が蓄積されつつある。本講演では、マーカー選抜の現状と抵抗性品種の育成について報告する。

(2)ホップは雌雄異株の植物であり、雌株に着生する毬花はビール醸造に利用される重要な原料である。ホップの育種は雄株の花粉を雌花に交配し得られる 個体を選抜することにより行われる。しかし、雄株には毬花が着生しないため、その評価ができず育種の効率は他植物より劣る。われわれは、エチレンの作用に着目し、エチレン作用阻害剤のAgNO<sub>3</sub>、STS、Chrysal K-20C及びエチレン合成阻 害剤のAVGを用い、雄花誘導効果を明らかにした。

講演終了後に、講師のお二人を囲んでの情報交換会を会費2000円で行います。情報交換会にご参加の方は準備の都合上、以下の連絡先に5月27日(水)までにご連絡下さい。

連絡先: 岩手大学農学部 高畑義人 (019-621-6151、ytakahata@iwate-u.ac.jp)